

北岡理事長がベトナムを訪問

01



日越大学開学式典



ズン財政大臣と会談する北岡理事長(左)

JICAの北岡伸一理事長は、9月5日から10日にかけてベトナムを訪問し、日越大学の開学式に出席しました。また、グエン・ティ・キム・ガン国会議長、デイン・ティエン・ズン財政大臣、チュオン・クアン・ギア交通運輸大臣、グエン・ドゥック・チュン・ハノイ市人民委員長らと会談を行い、日本の政府開発援助(ODA)協力の現場を視察しました。

北岡理事長は8日に日越大学記念シンポジウムで基調講演を行い、翌9日には日越大学開学式に出席しました。開学式では、ベトナム側を代表して、フン・スアン・ニャ教育訓練大臣が祝辞を述べました。

これに先立つ6日、北岡理事長はダナン市を訪問し、フィン・ドゥック・トー・ダナン市人民委員長と会談しています。トー委員長は、これまでの協力について謝意を述べるとともに、今後のダナン市の経済発展を後押しする日本の支援に期待を示しました。

また、北岡理事長はハイヴァン・トンネルやダナン港など、ダナン市で実施されたODAの現場を視察。ダナン市はインドシナ半島を横切る東西回廊の東端の起点都市であり、これら協力の役割や重要性がますます高まっていることを確認しました。

この他、北岡理事長は8日にズン財政大臣と、9日にガン国会議長と会談しています。両者は、JICAのこれまでの協力に感謝の意を表しました。

北岡理事長はODAにより建設中のハイフォン近郊のラックフエン港の現場を訪問した他、ハノイ市のノイバイ国際空港をはじめ、ニャッタ橋(日越友好橋)や環状3号線道路など、首都圏の持続的な発展を支える日本の協力案件も視察。日本による長年の包括的な支援がベトナムの発展に貢献していることを再確認しました。

キューバでがん診療サービスの向上を支援

02



署名式(前列左から、高野剛JICA中南米部長、リゴベルト・エノア外国貿易・投資省アジア・大洋州経済政策局長。立会人として後列左から、入柿秀俊JICA理事、イレアナ・ヌニェス外国貿易・投資省次官、エミリオ・デルガード保健省薬剤・医療技術局長)

JICAは9月23日、キューバ政府と「主要病院における医療サービス向上のための医療機材整備計画」に対して12億7300万円を限度とする無償資金協力の贈与契約を締結しました。この事業は、9月22日、日本の首相として初めてキューバを訪れた安倍晋三内閣総理大臣とラウル・カストロ国家評議会議長との首脳会談で約束されたもので、同国向けの初めての本格的な無償資金協力事業となります。

キューバでは、がんが死亡原因の1位ですが、外貨不足などで医療器材の老朽化が進んでおり、がんの早期診断・治療に必要な医療機材の整備が急務となっています。東部を中心とする貧困地域のがん診療環境の改善も課題です。

本事業では、キューバの主要な医療施設に、医療用画像診断システムのデジタル化に必要な機材などを整備。がん診療・治療の強化と、医療サービスへのアクセス改善を目指します。JICAは本事業に加え、医療機材保守管理・がん早期診断能力の強化を図る技術協力も実施していきます。

グローバルフェスタJAPAN 2016開催

03



外務省、JICA、JANICの代表者らが参加したオープニングセレモニー

10月1日・2日、国内最大級の国際協カイベント「グローバルフェスタJAPAN 2016」が、外務省、国際協力NGOセンター(JANIC)、JICAの共催により、東京都江東区のお台場センタープロムナードで開催されました。

開発途上国の貧困削減を掲げたミレニアム開発目標(MDGs)に続く新たな目標、「持続可能な開発目標(SDGs)」を中心に据えた今年のテーマは、「To the Next Step」新しい目標に向かって。国際協力への理解を深め、一歩を踏み出してもらうことを目指しました。

当日は、NGOや国際機関、各国大使館、企業などの269団体が出展し、2日間で約10万人が来場しました。

会場に足を運んだ人々は、各団体の活動紹介を通じて国際協力への関心を深めるとともに、各国の料理などを楽しみました。ステージ企画では、「なんとかしなきゃ!プロジェクト」メンバーを含む著名人らが、国際協力をテーマにしたトークなどでイベントを盛り上げました。